

# 弓道いばらき

平成2年3月第14号

発行所 東海村松1292-2  
茨城県弓道連盟  
電話 (0292-82-3580)

## 次代の発展に向って

### 四十周年を迎えた 県連盟

県弓連会長 関 宗長

平成元年は、日本のみならず、全世界あげて激動の年でした。このような中で、全弓連も、県弓連もともに、創立四十周年を迎え、功労者の表彰など、記念大会を行いました。県連運営の功労者、地域の弓道活性化にご盡力いただいた功労者、県外大会において優秀な成績をおげた団体及び個人の方々等に感謝状を差し上げましたが、これらの人々の努力があったこそ、今日の県弓連の隆盛があるわけでありまして、心から敬意と感謝を捧げたい。また、平成元年は、昨年に引き続き、充実した県連活動がなされた。即ち、特記すべきこととして、田原トシ先生が範士昇格、柴田猛先生が八段昇段、牛久町及び常磐大学に弓道支部誕生をみ、全日本上級指導者講習会を主管運営して好評を博し、東海村弓道連盟が文部大臣賞を受賞するなど、りっぱな成果をなした。また、女子部（部長田原範士）が講習会など充実した活動を進めており喜びにたえない。また、近年、中体連・高体連への加盟校の増加、五段会、範教練士会、明正会の自主的活動も活発になっており、会員数も1,000名をこえた。

しかし、今、四十周年を迎え、戦後の混乱、復興、繁栄の昭和から平成への激動の時代に、弓道が着実に発展して参り、内外の評仙を高めてきた先輩の努力精進の歴史を顧みると、将来ともに弓道を発展させてゆくためには、指導者、施設、あるいは学校、弓道のあり方など、課題もそれなりに多い。そこで

この機会に、我々は、将来の飛躍発展のための着実な計画をたて、弓道の未来を拓く責務を果さなければならぬ。ここに、あらためて、弓友各位の精進に敬意と感謝を捧げるとともに、県連のモットウたる「和」の精神により、相協力して、所期の目的達成に進まれんことを切望する。

### 全弓連創立四十周年記念式典に おける受賞地連を代表して

#### 会長謝辞

たいへん僥越でございますが、お許しをいただき、地連関係受賞者を代表してお礼のご挨拶を申しあげます。

私ども、本日、全弓連四十周年記念式典において栄えある表彰をされましたことは、誠に光栄であり、感激にたえないところであります。

今日、日本弓道が、国の内外において、高く評価され、普及発展を遂げておりますことは、先人、先輩各位並に連盟本部の真摯な、精神的な、並々ならぬご活躍の賜ものであり、衷心敬意を表するものであります。

お陰様で、各地連活動も全弓連の適切な指導のもと、充実発展の一途を辿りつつあることは慶賀にたえません。私ども、地連の役員として、その一端を少しでも支えて参りましたことを誇りに思い喜びにたえないところであります。しかし、日本弓道の長い栄光ある歴史を引き継いだ現代弓道人と

して、将来へ弓道を発展継承させなければならぬ責務を想うとき、その責任の重大さに慄然たるを覚えるものであります。

私どもは、今日、四十周年記念大会に当り、その責務を再確認し、今日の受賞の栄誉と感激を胸に、日本弓道が二十一世紀に向けて躍進、充実、発展を続けるよういっそう精進努力することをお誓し、謹んで謝辞いたします。

## 随想

副会長 矢吹 三郎



九州で某スポーツ誌が、「日本弓道」を見てと題し、一般人に問いかけたアンケートの結果は、①訝えた弦音と中的の快音に魅力、②能舞に似た日本古来の芸術（美）と観る、の外各様の評価順位がつけられたと聞かされたことがある。

念することに呼応し、吾人は一時の油断も許されないと痛感する。故に指導層に列する誰もが「心技体」の修練実践に努力する気構えと心気の高揚なくしては、全弓連理想は実現しないことを深く認識すべきである。殊に「国際的日本弓道」となった今日に於いておや、カラオケを楽しむ庶民の風潮は、娯楽嗜好として納得するが、のど自慢をするためのカラオケであれば私は反発したい。日本弓道も腕自慢（的中自慢）として修練する様な姿勢は、良識ある射手のとるべき道ではないと思う。年令と共に老化衰退の生理現象は人間として避けられないが、それを補うものが努力体験によって培われた芸境で、この深遠で幽玄味のある内面的発露が、技の巧拙を超えた「芸」であると思うのである。

弓を飛道具と謂はれた思想が底流となつてスポーツ弓道、的中競技の弓と射する人々が今なお多い中で、射芸と観て美しさを想う人が増えていることは、弓道観の革新であり、心ある射士は、この現実を軽視してはならないと思

無名の弓人が射の正道を演じ、唯精一杯に無心の正射中を得たときである。これが日本弓道特有の芸境の響きではなからうか、おそらく意識し、計算づくで出たものでなく、過程の中で「誠」を尽したその心の露呈であると思われ極めて貴いものと感心させられて真に爽快な気分になる。

は、弓道観の革新であり、心ある射士は、この現実を軽視してはならないと思

豊かな知性と徳操の上に蓄積された射道精神の顕現が「射道芸術」である。故武市義雄範士は定義づけている。

# 田原トシ範士御昇格 おめでとう!!!

田原トシ範士の弓歴  
昭和十三年 平山雄次郎先生に師事し  
弓道を始め。

昭和十四年 武徳会初段認許。

昭和十五年 武徳会二段認許。

昭和十七年 広島県津田先生に師事し  
武徳会三段認許。

昭和二十九年 全日本弓道連盟四段

昭和三十四年 全日本弓道連盟五段

昭和三十五年 全日本弓道連盟錬士

昭和四十四年 全日本弓道連盟六段

昭和四十四年 全日本弓道連盟教士

昭和四十五年 全日本弓道連盟七段

昭和五十九年 全日本弓道連盟八段

平成元年五月 全日本弓道連盟範士  
役職

茨城県弓道連盟審議員

茨城県弓道連盟相談役

茨城県弓道連盟女子部会長

田原トシ先生の  
範士称号授与をお祝いして

副会長 山口 省吾

先生は昭和十三年より弓道を始められ途中一時中断されましたが、強固な意志と信念により鋭意修練に専念されその成果は誠に素晴らしい、特に「継続は力なり」で範士の称号を授与

## 任期満了に当って

理事長 木村 喜久雄

茨城県弓道連盟は発足以来、弓道の本髄を大切に、奉仕の精神と和の絆によって四十年間の歴史を綴るに至っております。

今、本連盟では、本県弓道連盟創立四〇周年を迎えた平成元年を契機に本連盟四〇年の史誌編纂に務め、先人がなされた四十年間の「あゆみ」を顕彰しようとしております。これは継続事業としてプロジェクトチームを強化し、県内隈なく資料収集をしたいと考えてお

りますので、自己の実績、先輩後輩の実績などお寄せ下さるようお願いいたします。さて、本連盟は今、ママさん弓道家が主流の女子会（会長＝田原トシ範士）の充実が顕著であり、更に今後とも会員増が見込まれます。かつては事業所関係の弓道支部が連盟発展の大きな核をなしてきたものでありましたが、今は地域中心の支部の賑わいが発展の核をなしつつあり、現有会員数も約一、〇〇〇名を数えるに至っております。加えて中体連・高体連弓道専門部も弓道指導の高まりにより弓道を学ぶ少年弓道家も年々増加の傾向にあって、茨城の弓道は数、質ともに隆盛を推移するであ

されましたことお祝い申しあげます。小生も、先生と共に東京の窪田貞太郎先生に十有余年ご指導をいただきましたが、当時を想起し懐旧の念で一杯です。先生の旺盛な研究心と、実践力は射術の円熟となり円満なお人柄と共に卓越した指導力がこの度の栄誉であると信じ尊敬するものであります。この度の栄誉は茨弓連においても一大慶事であり誇りに存じます。女子弓道部は勿論、本県弓道連盟の振興発展のために豊かな修練体験をもにご指導いただけましたことを幸せに存ずる次第であります。

先生のご自愛と益々のご健勝をご祈念申し上げますと共に弓界のために活躍下さることを切にお願いし、誌面をお借りして祝辞といたします。私は、弓を始めから数か月後の試

合の経験が、現在の支えになっていると言っても過言ではないほど強烈な体験となって私の身体にしみついていいます。弓道は静中の動、その「動」が足が震える動であり、動悸が高鳴る動だったので。夢中で20射引き、終わってみると練習の時より良い記録だったので。いわゆる「あがり」の状態でも好結果がでたのです。この時の体験が私の弓道修練の基になっています。その後は、中野先生から指導戴いた「三つの稽古」、「四つの慣れ」を心して練習しました。そして、練習の成果を試合や審査で心の動き、会の深淺、矢所、澄ましなどを評価し、良いところは自信とし足りないところは更に稽古に励むようにしてきました。ですから、試合や審査は自己評価の場であると考えてきました。「稽古の仕上げは試合であり、審査である。」と思えます。試合・審査はどう自己を表現するか、どう具現化できるかであり、したがって、結果は素直に反省の材料とする姿勢が大切であろうと思っております。

ろうと期待しております。一九八七年度～一九八九年度を担当した事務局は、関宗長会長のご指導の元に、五専門部の優れた先生方や多くの弓友に支えられ、次のような行事あるいは制度の改正に関与させて頂きました。誠に得難い経験と「有言実行」の大切さを学ぶことができ、それぞれに関わって下さった方々に感謝申し上げます。

一 中央審査会の主管  
二 ミニ国体の主管  
三 国体男子近の優勝祝賀会  
四 故中野慶吉範士葬送に関わる諸作業

五 中野慶吉範士追悼射会  
六 山口省吾、田原トシ範士昇格祝賀会  
七 連盟組織（専門部）の分掌事務処理の確立  
八 副会長の実務型定数への改正  
九 中、高体連弓道専門部充実の現状を踏まえた代議員定数の改正

今後の弓道の発展は人格形成の向上を根幹としながら、時代の流れによる多様な修練の目的を如何に包含するかの工夫が必要であろうと考えます。弓道連盟は常に「生きていく」ことを意識しつつ、柔軟性ある運営がなされることでありましょう。

「弓友皆さんは周囲との調和を考え、自己の修練目的が存分になしうよう連盟運営に関心をもち、有言実行をもって次期執行機関にご協力下さるよう望むものであります。大過なく任期満了するに当り、改めて感謝申し上げ、みなさんの益々のご精進をお祈りいたします。

水戸支部 柴田 猛  
試合・審査に思うこと

昨年秋の審査でお蔭様で八段をいただくことができました。これも偏に故中野先生はじめ県弓連の皆様方のご指導とご支援の賜と心より感謝いたしております。弓道の真髄には一生かかっても到達できないとは思いますが少しでも近づくよう一層の精進をせねばと心新たにしている昨今です。

最近、審査や講習会などで感じることは、昇段・昇格願望が強いような雰囲気があるように思えることです。初心忘るべからずと言われるように、弓道を始めた動機を思い起こし、結果を性急に追いつ求めず、もっと弓道を楽しんでほしいと思います。

# 専門部だより

## 指導部長

関根 村夫

平成元年度の指導部事業も、三月三日四日、大宮市で開講された関東地域指導者講習会への受講者派遣を最後に滞りなく終了した。講師として御活躍頂いた先生方、及び地区講習会を企画開催された地区委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

本年度の講習会は、段階別講習会、地区主催講習会等計二一回開催し、延べ四二三名が参加した。昨年度は計一回、三七四名の受講数であったから約二％ほど増加している。因に本年度の講習会実施状況は下表の通り。

地区主催の講習会は、近年開催地区が限定されてきたように思う。他の地区でも考えて頂ければ幸いである。地区によっては道場の問題とか、参加者が少ないとか、地区特有の事情もあると思うが、場合によっては二地区共催でもよいだろうし、地区が広域に跨るところでは支部単位でも要望があれば対応したいと思っている。開催時期については、各種行事が錯綜するシーズン中ではなく、一二月から三月くらい

か。この時期こそ審査や競技会に振るまわされることなく、思いきった個癖の矯正や正しい射技の修得ができると思うのだが――

ここ数年講習会の在り方を模索してきたが、反省材料ばかり多くこれといった決め手がない。県連盟主催の講習会は、四、五段以上の指導的立場にある者を対象とし、三段以下については地区又は支部の自主性に任せ、指導部が支援する形が望ましいと思うのだが「初級者対象の講習会もぜひ県武道館で続けてほしい」との希望が多く、これらの声も無視できないので指導者対象の講習会と併せて本年度も開催することとした。又今年は関東地域指導者講習会単一講習会開催に該当するので、出来得れば中央指導委員会講師を招へいしたいと思っている。

講習会の目的は、教本に示された体配、射法射技の徹底履修にあるが「県連盟全体のレベルアップ。中央審査、県内審査の合格率の向上。競技力の強化し等の目的も併せ持つ。漫然と講習会に参加するのではなく、これらのことを念頭において積極的に参加して頂きたい。

とにした。この「手引き」は、弓道教本に準拠して必修項目を簡潔に記述し併せて審査や競技会にも応用できるよう配慮したものである。講習会用ばかりでなく、日常の修練の伴侶として、又学校弓道部、弓道教室の教材として広く活用して頂きたいと念願している。今年も又多忙なシーズンとなりました。皆様の各方面での活躍を期待しております。

### 平成元年度講習会実施状況

年月日	名称	会場	参加数
1. 5. 7	三段以下講習会	県武道館	72
1. 5. 21	土浦地区講習会	土浦武道館	38
1. 8. 13	伝達講習会	県武道館	42
1. 8. 18	女子伝達講習会	県武道館	40
1. 9. 17	鹿行地区伝達講習会	神栖武道館	21
1. 9. 24	四・五段講習会	県武道館	36
1. 10. 1	県上級者講習会	県武道館	38
1. 10. 8	県西地区伝達講習会	下館武道館	17
1. 10. 29	日立地区講習会	原研弓道場	5
1. 11. 19	土浦地区講習会	土浦武道館	31
2. 2. 18	県教委主催講習会	県武道館	83
	計		423

## 競技部長

久保田 清

石塚先生の後任として、一年間競技部長という大役を引受け、私にとっては、今までの弓道人生の中で大きな改革でした。各先生方、先輩方達のお手伝い程度で過して来た私でしたが、今日お引受けし、仕事をするたびに、今までの部長経験の先生達の御苦勞を痛切に感じました。

若輩の私でしたが、諸先生方、先輩方の御指導、御協力により、平成元年度という出発の年に、経験させて戴き、無事終了することが出来ました。感謝申し上げます。

六頁に平成元年度の競技成績を掲載いたします。

## 審査部長

赤津 徳

平成元年度の審査部の行事も滞りなく終了できましたことは、これひとえに役員、審査員、各支部会員各位の温かいご指導とご支援の賜ものと感謝申し上げます。

平成元年度の受審者は前年度より増加しました。それにとまない合格率も上り各受審者の努力のあとが見られました。

平成二年度は元年度以上の受審者数

### 平成元年度県内審査一覧表

階級	受審者数	合格者数	合格率 (%)
級	683	601	
初段	568	594	
2段	458	363	79.25 %
3段	129	56	43.41 %
4段	79	24	30.37 %
5段	88	10	11.36 %
合計	2005	1648	



と合格率を高め、更には上の目標をめざして日常の稽古精進に努力されるよう切望いたします。

弓道を学んでゆくうえでは現状に安住しようと思ふ気持ちを捨て、新進気鋭で過去の自分自身をすべて捨て去って新しい自分の弓になれるよう絶えず前向きに求めてゆく自己の姿勢が何よりも大切だと思います。

今後とも審査部にご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

## 選手強化部長

天 冨子

梅の花もほころび、春の訪れも間近となり、県弓連の年間の予定もほとんど消化し、平成二年度にむかい目標を立てなければなりません。

部の反省を考えてみますと何と言っても、国体強化が主となりますが今年は成績が良くありませんでした。しかし「失敗は成功のもと」の格言を信じ出なおしのつもりで問題点をあげ、その原因を取りのぞく努力をしなければならぬと思います。選手決定が七月初めなので、それから一ヶ月半の間にチームワークをととのえ、近的、遠

近的の技術は選手がすでに、よいものを整えています。ミニ国体のタイム制限の中で、三名が自分の実力を十分に発揮することは時間がかかります。それと選手各自の精神的なリードがむつかしい、やる気は充分持たなければならぬし、「あせり」「責任」を強く感じすぎると「こり」となって失敗する。

平常には充分力を持っていないながら、自分の実力に過信しすぎてかえって失敗に結びついてしまふ。これをどう成

功に持って行くか、監督と選手が共に研究しなければならない問題です。

遠的は練習が思うように出来ないこと、距離が60mになったため、弓の強さが14kg以上でなければ、技術に不安定がともなう、練習場が県に一ヶ所

で思うように使えない。今年強化は十二分に行ったが、成果が上らず非常に残念な結果となった。以上の問題点や原因を、各監督や選手と共に考え、平成二年度にはまず関東の厚い壁を突き破って、国体に出場する種別が多くなるよう努力したい。

### 平成元年度を振り返って

#### 高体連弓道専門委員長

青木 一男

今年思いがけず高体連弓道専門部の委員長を命ぜられ、白石直之先生の後を引き継ぎました。何分にも力不足で不安でありましたが、加盟各高校の顧問の先生方のご協力と県弓連の先生方のご支援・ご指導により、本年度の行事も三月の全国選抜を残してすべて無事終了できました。ここに、心より感謝申し上げます。

本年は、天・猪野・柴田先生を迎えての学校指導者講習会と山口・赤津・木村・宮崎・浜野先生のご協力で審査に関する講習会を開きました。先生方の熱心なご指導で、内容のある有意義な講習会でありました。今後ともさら

に充実させ、各校生徒の体験・射法の向上に生かして行きたいと考えております。

大会全般では、地区予選を導入し試合形式をも変更して県大会の内容の充実を図りました。期待通り各大会では好試合が繰り広げられましたが、当初の最大の目標である県外大会で活躍できる安定した射と強い精神力を持つ選手の育成には、今一步の感がいたします。県外大会では関東大会における男子団体の境高校の三位入賞だけに止まり、団体ブロック予選でも少年男子が近的一位を生かせず今一步で本大会出場を逃したのであります。

しかしながら、現在高体連弓道専門部には七十校が加盟、各校顧問の先生方は熱意を持って生徒を指導して下さいております。生徒一人一人の厳しい鍛練を期待し、かつての「強い茨城」の復活をめざして行きたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

### この一年間の活動を振り返って

#### 中体連弓道専門委員長

大久保 秀隆

中学校体育連盟創立四十周年を昨年十二月に水戸のプラザホテルで盛大に祝いました。

その折に、記念表彰者として、弓道関係からは、青木英(元東海中校長)

武藤正夫(元東海南中校長)の両部長先生と大貫六郎(愛宕中)・成田清(東海南中)の両委員長の先生方が本年の中体連弓道専門部発展のために尽くした功績により選出されました。

次に優秀学校賞として、鹿島の清真学園中学校が過去の全国大会入賞の実績が評価され、その栄に輝きました。さらに、優秀指導者賞を、幾多の優秀チーム、選手を育成した功績により関根令夫先生(清真中)・安藤正光先生(内原中)、木村明弘先生(東海南中)の三人が受賞しました。

そして、優秀選手賞として、本年度の第十六回中学生全国通信弓道大会でそれぞれ個人の部で優勝した高安由美(内原中)・十二射十中)・富田建一(東海南中)・十二射十一中)の両選手が受賞しました。

また、本年度二回目として実施された全日本少年武道(弓道)錬成大会で優良賞を竜ヶ崎の愛宕中学校が得られたことは、誠に喜ばしいことでした。

最後に、県弓道連盟の後援により、中体連弓道専門部も十七の弓道実施校を数えるようになり、大会参加人数も三百人を越えるようになり、個人戦は人数制限をして実施するようになりました。今後は、さらに競技力の向上をめざし、関係者一同取り組んでいきたいと考えていますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

### 十周年を迎えた明正会

明正会理事 五来 清

明治弓道会も昭和五十五年六月前會長の猿田勘寿先生の発創に依り充足し本年で十周年を迎える事になり、去る平成元年四月十二日に県武道館において、昇弓連会長、並びに各部会会長さんに、ご臨席賜り誠に盛大に挙行出来ました。十周年無欠席者、仲野智善先生、最高齢者、矢ノ中庚子太郎先生のお二人の表彰を行い、誠に意義ある大会でした。

今後益々健康保持のため、又弓界への貢献度を高める意味からも一増の精進をすることとし、夏季研修の充実を計り、八月には一泊三日の研修射会を大子町弓道場に於て実施致しました。壮者をしのぐ猛訓練には地元参加者も驚きました。

尚各方面からの要望もあり明治生れとか七十才以上の制限をせず希望者は参加させてくれるようにとの希望も多いものですから、総会の結果、大正生れの方々のご参加も頂ける様に、会の名称を改め「明正弓道会」と命名した次第です。ふるってご参加を希望します。

行事としては年六回です(新年射会、忘年会、夏季研修会、他例会三回)  
明正会役員  
会長・山口省吾範士  
副会長・篠塚篠吉教士、田原トシ範士

理事・石川篤次、仲野智善、磯静波  
古内緑、五来清  
監事・水野昇一、武藤生三

県弓連の役員諸先生の方々の一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 五段会の活性化を願って

五段会会長 室橋 一孝

昭和四十六年に日立の荒井源吉五段が、上位昇段昇格を目指す同好の方々を集め錬成会を結成し、県内外の先生に指導をお願いし修練に励んで今日に及んでおります。ご指導下さった諸先生のご講評とご注意のなかで、共通した幾点がありました。

- 一 受講態度(服装、心掛け、時間を守る)
- 二 弓道は教えられるものでなく求めるもの
- 三 基本の反復
- 四 呼吸と間合、動作
- 五 体配は心して修練せよ、一人だけの行動ではなく、必ず他人がいる、常にチームを意識せよ
- 六 教本第一巻は完全修得せよ
- 七 気力

以上のご指導、特訓を受けて、多い年には八名もの錬士昇格者があり、現在、教士、錬士、六段に昇格された会員が多数おります。昔の五段会は受身

に加えて、会員(錬士受有者)が自分の経験をふまえた相互研修に励んでおります。

五段会は五段受有者以外でも入会出来ます。上位上級を狙う四段、三段が弓道発展向上のためふるって加入してください。お待ち申し上げます。

### 神栖町町制施行二十周年 記念弓道大会を終えて

神栖支部 高橋 平吉

昭和四十五年町制を施行、今年で二十年を迎えた、二月四日に祝賀弓道大会が開催され、一〇〇名が参加、特別演武鳴弦四方詰の儀式が山口省吾範士(介添え、引間弘錬士、高橋平吉錬士)により場内に尺八の音が流れる中、厳粛に進められた。盛儀を観覧された関係者の中には、山口範士の八十二才という高齢を思わせぬ、気魄の中に占められた、礼、技、美、の調和のとれた演武をご覧になって、正に弓道の真髄を見た思いと、深く感銘された。

- 一 引続いて持射の射礼が行われ、五の立
- 二 篠塚藤吉教士八段の至誠に徹した射は
- 三 見事的心を射貫き、満堂をいやが上にも沸かせ、祝賀大会にふさわしい演武
- 四 でした。また参加者の中で親子で出場
- 五 し共に入賞の川瀬さん、夫婦で活躍し
- 六 た冨森さんと神栖も活発になって、こ
- 七 れから家族ぐるみ、町ぐるみの弓道発
- 八 展に向って頑張って行く事を願ってま
- 九 す。

士浦支部 助川 末廣

### 中野道場での思い出

土浦支部 古内 緑

五段会講習会が昭和五十三年七月二日中野先生の弓道場で行われました。その際、中野先生から、ご指導いただいたことのうちに残っておりますことを述べてみたいと思います。

### ◎四つ(世慣れ)

- 一 道具に慣れる、弓、弾、矢を取換えないように、弓に合った弦を使用する。
- 二 場所に慣れる
- 三 平地、芝生、筵等の上で稽古して如何なる場所でも引けるようになる。
- 四 人に慣れる
- 五 偉い人の前でも、上手な人、下手な人の前でも上らない稽古をする。
- 六 的に慣れる、大的、小的に慣れる稽古
- 七 その他
- 八 呼吸と間合の美しさ
- 九 禅と弓、心の弓を引く

最近、各支部で弓道教室等を催し、弓道がより多くの人に理解して頂く機会が多くなり、大変良い事と思っております。この文は、私(弓具店矢師)の一人ごととして聞いて頂きたいと思っております。近ごろ、弓の強弱を重い軽いと

表現している人が多くなりました。これは、近年、弓の強弱を、何分何厘から、キログラムで表している為で間違いないのですが、弓の場合、やはり、強い弱いと言ってもらいたいと思えます。あくまで弓は、引くものであって、物を持ち上げる道具ではないのですから。又、弓と矢の関係なども、指導者の先生、弓具店にお聞きになると良いと思えます。弓が強いから重い矢を、又は太い矢を、弓が弱いから軽い矢を、又は細い矢をと、単に思っている人がいますが、太くても軽い筈はあるし、細くても重い筈はあると云う事を知って頂き、それと関連して、弓の強弱に合わせて筈張の強弱、節くばり、筈の形、筈の種類等、知っておく必要があると思えます。弓には中、貫、久と云う事がありますが、これは射手の技術と、矢が弓の力にあってなければならぬ事です。それから道具の取り扱い方も勉強しておくことが大事なことです。

せっかく良い弓、良い矢をもっていても、又、買い求めても、取り扱い次第で、道具は何か月かで、良否がはっきりしてきます。それから道具は大切にしてください。

そして良い道具(値段の高い安いではない)をもって、正射必中し、一本一本の矢に自己開発を求め、総身一体となつて弓を射るのが日本弓道であると信じています。

矢師として思うこと  
土浦支部 助川 末廣

最近、各支部で弓道教室等を催し、弓道がより多くの人に理解して頂く機会が多くなり、大変良い事と思っております。この文は、私(弓具店矢師)の一人ごととして聞いて頂きたいと思っております。近ごろ、弓の強弱を重い軽いと

表現している人が多くなりました。これは、近年、弓の強弱を、何分何厘から、キログラムで表している為で間違いないのですが、弓の場合、やはり、強い弱いと言ってもらいたいと思えます。あくまで弓は、引くものであって、物を持ち上げる道具ではないのですから。又、弓と矢の関係なども、指導者の先生、弓具店にお聞きになると良いと思えます。弓が強いから重い矢を、又は太い矢を、弓が弱いから軽い矢を、又は細い矢をと、単に思っている人がいますが、太くても軽い筈はあるし、細くても重い筈はあると云う事を知って頂き、それと関連して、弓の強弱に合わせて筈張の強弱、節くばり、筈の形、筈の種類等、知っておく必要があると思えます。弓には中、貫、久と云う事がありますが、これは射手の技術と、矢が弓の力にあってなければならぬ事です。それから道具の取り扱い方も勉強しておくことが大事なことです。

## 平成元年度 競技部 大会記録

大会名	種別	第1位	第2位	第3位	参加人員
全日本勤労者選手権予選	団体	航空自衛隊(百里)	日立製作所 A		49
	個人	川崎信(百里)			
春季大会兼武道館親善大会	団体	筑波大 E	筑波大 D	日立製作所(日立)	195
	団体優秀	那珂湊	つくば	日立製作所(日立)	
	個人男子	宮本辰男(那珂湊)	小峰正明(筑波大)	谷見武(藤代)	
	個人女子	斉藤登喜子(筑波大)	吉田正子(石岡)	西宮寛美(筑波大)	
	称号受有者	明間勲(土浦)	久保田清(藤代)	川崎安之(勝田)	
	個人優秀	高木勉(友部)	石井誠(那珂湊)	吉田智(石岡)	
遠の大会国体2次	成年男子	原田健司(筑波大)	川崎安之(勝田)	石井誠(那珂湊)	64
	成年女子	高柳さえ子(鉾田)	谷山敦子(阿見)	荒木玉江(勝田)	
県民総体県選手権大会国体3次	成年男子	松尾牧則(つくば)	川瀬政人(神栖)	原田健司(筑波大)	192
	成年女子	谷山敦子(阿見)	高柳さえ子(鉾田)	阿久津純子(笠間)	
	称号受有者	白石直之(水戸)	柴田猛(水戸)	宮崎康美(茨大教)	
青年大会	団体	日立市	鹿島郡	水戸市	23
第13回中野杯記念大会	一般男子	原田健司(筑波大)	宮本辰男(那珂湊)	清水勉(筑波大)	200
	一般女子	今泉和子(神栖)	谷田部智美(常陸太田)	小泉紀子(原研)	
	称号受有者	緑川覚吾(日製)	関根村夫(三和)	柴田猛(水戸)	
支部対抗40周年記念大会	団体	那珂湊	茨大教員	土浦 A・阿見	235
	一般男子	柴田猛(水戸)	高橋政行(日製)	金井一夫(水戸)	
	70才以上	村越憲一(大洗)	石川一三(牛久)	篠塚藤吉(潮来)	
参加者合計		成年男子 537	成年女子 236	称号者 185	合計 958

### 県外大会入賞者

- ☆5/1 住吉大社全国大会(京都)男子団体優勝 ○筑波大(原田健司、小峰正明、広山直幸)  
女子団体優勝 ○筑波大(西宮寛美、松田京子、好崎絵子)  
男子個人準優勝 ○小峰正明(筑波大)
- ☆5/2 第40回全日本弓道選手権大会(京都) 遠的の部優勝 ○原田健司(筑波大)
- ☆11/3 明治神宮奉納全日本弓道大会(東京)有段者の部優勝 ○松尾牧則(つくば)

◎「弓道」の購読について

全日本弓道連盟で発行している機関紙「弓道」を会員の皆様に購読していただきたいと思ひます。  
頒価(郵送料共) 月300円 年間3500円

◎「創立40周年記念誌」の購入をお願いする

中学、高校、大学、一般会員の未購入者 頒価5000円

申し込み先 〒150 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内 全日本弓道連盟

<p style="text-align: center;"><b>編集委員</b></p> <p>編集長 宮崎康美 副編集長 介川達 長谷川富次 小泉紀子 木村喜久雄</p>	<p style="text-align: center;"><b>編集後記</b></p> <p>原稿を御送付下さいました各位によって形だけは整いました。校正と配布準備とあわただしく実施しましたが、無理に盛り込んだため紙面が窮屈になってしまいました。次号からは新担当者ににより更に内容を充実し、立派なものが作られるよう願うものであります。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">六段</td> <td style="width: 10%;">郡司一男</td> <td style="width: 10%;">六段</td> <td style="width: 10%;">久松正巳</td> <td style="width: 10%;">六段</td> <td style="width: 10%;">関正美</td> <td style="width: 10%;">六段</td> <td style="width: 10%;">木村喜久雄</td> <td style="width: 10%;">六段</td> <td style="width: 10%;">介川達</td> <td style="width: 10%;">八段</td> <td style="width: 10%;">柴田猛</td> <td style="width: 10%;">錬士</td> <td style="width: 10%;">木田泰三</td> <td style="width: 10%;">錬士</td> <td style="width: 10%;">室橋孝</td> <td style="width: 10%;">錬士</td> <td style="width: 10%;">多田修三</td> <td style="width: 10%;">錬士</td> <td style="width: 10%;">国谷保五郎</td> <td style="width: 10%;">錬士</td> <td style="width: 10%;">荒木玉江</td> <td style="width: 10%;">教士</td> <td style="width: 10%;">田村澄寿</td> <td style="width: 10%;">範士</td> <td style="width: 10%;">田原トシ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(竜ヶ崎)</td> <td></td> <td>(県庁)</td> <td></td> <td>(東海)</td> <td></td> <td>(原研)</td> <td></td> <td>(水戸)</td> <td></td> <td>(神栖)</td> <td></td> <td>(日立)</td> <td></td> <td>(新治)</td> <td></td> <td>(勝田)</td> <td></td> <td>(水戸)</td> <td></td> <td>(上浦)</td> </tr> </table>	六段	郡司一男	六段	久松正巳	六段	関正美	六段	木村喜久雄	六段	介川達	八段	柴田猛	錬士	木田泰三	錬士	室橋孝	錬士	多田修三	錬士	国谷保五郎	錬士	荒木玉江	教士	田村澄寿	範士	田原トシ				(竜ヶ崎)		(県庁)		(東海)		(原研)		(水戸)		(神栖)		(日立)		(新治)		(勝田)		(水戸)		(上浦)	<p style="writing-mode: vertical-rl;">昇段、昇格おめでとう</p>
六段	郡司一男	六段	久松正巳	六段	関正美	六段	木村喜久雄	六段	介川達	八段	柴田猛	錬士	木田泰三	錬士	室橋孝	錬士	多田修三	錬士	国谷保五郎	錬士	荒木玉江	教士	田村澄寿	範士	田原トシ																												
			(竜ヶ崎)		(県庁)		(東海)		(原研)		(水戸)		(神栖)		(日立)		(新治)		(勝田)		(水戸)		(上浦)																														